

令和 7 年度 針尾保育園 事業報告書

1 保育所の運営

(1) 定員 70 名

(2) 年齢別・月別入所児童数（各初日現在）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
乳児	3	3	3	4	4	5	7	7	7	7	8	9	67
1～2歳児	17	17	17	17	17	17	17	17	17	18	18	18	207
3歳児	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	168
4歳児以上	17	17	17	17	17	17	17	17	17	18	18	18	207
計	51	51	51	52	52	53	55	55	55	57	58	59	649

(3) 職員数 令和 7 年度初 20 名 令和 7 年度末 18 名

(4) 職員の異動

① 採用

年月日	職名	氏名	年齢	資格	備考
R.8.2.1	調理員			無し	

②退職

年月日	職名	氏名	年齢	資格	備考
R 7.5.3 1	保育士			保育士	一身上の都合により
R 7.8.3 1	保育補助			子育て支援員	一身上の都合により
R 8.1.3 1	調理員			調理師	一身上の都合により

③異動 無し

(5) 職員会議の開催状況

保育理念・目標を基本にし、保育の見直し、反省、改善点、更に一人ひとりの園児の成長発達について細やかに話し合い、記録は全職員に周知した。月に 2 回以上必要に応じて開催することで情報を共有し、全職員でチーム保育をすすめることができた。年度後半は園舎改築に向けての会議を行った。

2 保育の実施状況

園児一人ひとりの姿をじっくり見ることで、何が必要か、何を求めているのかを知り、必要な援助や支援を行った。更に保護者に対しても個々の状況や特性に応じて対応を行った。ただし、過剰な要求や本来、親(保護者)がかかわる事などに対しては、園児の成長発達に添った話をし、理解を求めるように努めた。

集団での育ち(保育園)と個での育ち(家庭)の協働、バランスを考えながら、乳幼児期の園児にとってふさわしい保育となるようにした。

3 外部講師の指導状況

指導内容	講師名	指導回数（月・週指導回数）	委託先名
幼児体育指導		毎月 2 回 午前 10 時より 年間 19 回	いむら体育教室
漢字保育指導		年 4 回（4 月・7 月・9 月・12 月）	登龍館
英語遊び		毎週月曜日午前 9 時 30 分より 年間 35 回	ECC

4 年間行事の実施状況

実施年月日	行事	実施年月日	行事
4月1日	始まりの会	8月20日	誕生会
8日	花まつり参加（島瀬公園・桜）	26日	避難訓練（火災）
19日	歓迎遠足（西海橋公園）	29日	オバケごっこ
22日	避難訓練（火災）	9月9日	バスハイク（図書館・桜）
24日	誕生会・花まつり	10～17日	中学生職場体験
5月16日	大島造船所命名式参加（桜・菊）	18日	サンホーム江上訪問
20日	誕生会・尿検査	25日	誕生会
22日	芋さし	30日	避難訓練（火災）
23日	バスハイク（早岐茶市）	10月10日	運動会総練習
28日	避難訓練（火災）	21日	誕生会・検尿
6月5日	バスハイク（百合、菊、桜）	20日	運動会（雨天の為18日より延期）
7日	内科健診	28日	不審者避難訓練
9日～14日	保育参観の週	29日	芋掘り
19日	誕生会・歯科検診	30日	避難訓練（火災）
20日	交通安全教室	11月4日	バスハイク（百合、菊、桜）
23日～28日	保育参観の週	7日	鍛錬遠足
23日	不審者侵入時訓練	11日	焼き芋
25日	大島造船所命名式参加（桜・菊）	12日	バスハイク（百合）
27日	土砂崩れ避難訓練	14日	バスハイク（桜）
30日	消防署立ち入り検査	14日	交通安全教室
7月3日	サンホーム江上	15日	内科健診
4日	相浦グラウンドプール（桜・菊）	18日	サンホーム江上
7日	誕生会・七夕会	19日	誕生会
7日～12日	保育参観の週	20日	針尾小学校交流
18日	バスハイク（プラネタリウム）	27日	バスハイク（百合）
22日～26日	保育参観の週	28日	総合避難訓練
23日	地震避難訓練	12月4～6日	作品展
30日	避難訓練（火災）	5日	餅つき
8月1日	夏祭りごっこ	11日	バスハイク（消防署・百合）
12日	バスハイク（バスセンター・桜・菊）	2月18日	針尾小より萩原先生来園
12月23日	誕生会	25日	カレー作り
27日	避難訓練（火災）	27日	発表会総練習
R8年1月10日	110番の日防犯訓練	3月6日	大島造船所命名式参加（桜・菊）
20日	誕生会	7日	第48回発表会
23日	バスハイク（選果場・桜・菊）	8日	うずしお祭り
27日	避難訓練（火災）	13日	在園児園舎とのお別れ会
29日	園内カルタ大会	14日	卒園式
30日	針尾小学校との交流	14日	仮園舎への引っ越し

30 日	大根引き	16 日	仮園舎で保育開始
2 月 2 日	誕生会・節分集会	31 日	終わりの会
4 日	発表会総練習		
6 日	監査		
13 日	大根引き(2 回目)		

5 職務分担表（令和 7 年度）最終版）

職名及び氏名	職 務 内 容	
園長 (苦情解決責任者) 虐待防止責任者	1 理事会の決定事項の執行 2 運営管理(人事・労務・施設・防火) 3 保育業務の管理(保育課程の作成)	4 財務管理 5 職員の資質向上(研修) 6 関係機関、保護者会等との連携及び地域活動 7 苦情解決責任者
主任保育士 (苦情受付担当者) 安全運転管理責任者	1 園長の補佐 2 職員相互の連携 3 保育課程の作成及び保育内容の指導助言 4 園内研修の企画及び指導 5 園行事に関する計画及び指導	6 保健衛生に関する計画及び指導 7 給食に関する助言指導 8 職員会議の計画と実施苦情解決責任者 9 苦情受付担当者 10 小学校との連携 11 バスの運行と安全管理
保育士 共通事項	1 指導計画の作成 2 保育実務 3 保育に関する記録園児の健康と安全管理	4 調理員との連携 5 保護者との連絡及び指導 6 園だよりの作成
保育士	＊桜組の担任	
保育士	＊菊組の担任	
保育士	＊百合組の担任	
保育士	＊薔薇組の担任	
保育士	＊堇組の担任	
保育士 看護師	＊蒲公英組の担任	
障がい児保育加配保育士	障がい児保育	
保育士	1 園舎内外の掃除点検・消毒	2 共通遊具の整理、保存
保育士	1 保育材料に関すること 2 備品物品に関すること	3 掲示板
保育士	1 交通安全に関すること	
保育士	1 避難訓練に関すること	
保育士	1 保健衛生に関すること	
看護師 (衛生推進者)	1 医薬品の整備・保管 2 衛生推進に関すること	3 健康診断及び歯科検診、尿検査に関すること 4 検便に関すること

保育士	1 延長保育促進事業に関するこ と	
保育士	1 心の保育に関すること	
保育士（食育担当）	1 食育に関すること	
調理員	1 献立の作成及び給食材料の発 注・検収 2 給食人員の把握 3 調理・配膳	4 炊具、食器の保管 5 給食事務 6 園舎内外の清掃、整頓に関するこ と
嘱託医	1 園児及び職員の健康診断	2 園児及び職員の健康に関する指 導
嘱託歯科医	1 園児の歯の検診	2 園児及び職員の歯の健康に関す る指導

6 施設等の整備状況

（１）施設の改築・修繕（１００万以上）

年 月	工 事 名	金 額（円）
別紙参照		

（２）固定資産物品（１０万以上）

年 月	物 品 名	金 額（円）

7 保育所の自己評価

（１）職員の自己評価

一年を「目標」「希望研修等」「前半評価」「後半目標」「年間評価」「来年度目標」と細かく分け、具体的な自己評価が出来るようにした。職員一人ひとりの評価を全体で共有し、保育の質の向上につなげていきたい。

（２）保育園おける自己点検・自己評価

全職員を二つのグループに分け作成、その後園長の責務のもと、園全体の点検評価を作成した。改善点はあるもののなかなか実行出来ていない。全職員で少しずつでも有意義なものとなるよう改善につなげていきたい。

8 職員の研修参加状況

年・月・日	研修会名	参加者
R7年5月21日	食育研修	
7月31日～8月1日	登龍館夏期指導者研修会	
8月18日	調理従事者等研修会	

8月29日	保育研修	
9月4日	保育部会・保育士班研修	
9月17日	主任主幹研修	
10月21日	保健研修	
11月7日	職員研修講演会	
12月4日	食育研修（離乳食について）	
1月14日、15日	キャリアアップ研修・マネジメント	

福祉会内公開保育参加者

佐々神田保育園

ルンビニ保育園

日宇保育所

楠栖保育所

9 苦情処理受付状況

ありませんでした。

R7年度

保育園(所)における自己点検・自己評価

(園名 針尾保育園)

・ A、B、C、Dの4段階評価

A：大変良い

B：良い

C：一部改善を要する

D：改善を要する

◎保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた保育課程を設定しているか。		○			保育理念・目標に対して、保育計画作成時に意識が足りていない。全体的な計画の十分な理解を深める必要がある。 常に子どもの最善の利益となっているか振り返りが必要であった。
	(2) 目標は、施設や地域の特色を生かしているか。		○			
	(3) 目標は情勢を鑑みて子どもの最善の利益になっているか。		○			
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。			○		
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			地域性や乳幼児を考慮し作成し、援助、支援を行っているが、反省を生かし切れていなかった面がみられた。
	(2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。		○			
	(3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。		○			
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。		○			良いです。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			見直しや改善等を行い、適切な行事となっていた。 また、園児の姿をよく見ることで、自主性を引き出し、楽しい活動につなげた。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に充分生かしているか。		○			
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			

◎ 保育計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	○			分掌、体制は適切であった。ただ個人個人の能力の差が見られた。
		(2) 職務内容が明確で、協働出来る体制になっているか。	○			
		(3) 職員の配置は適材適所か。	○			
		(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	○			
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○			適切な会議を行い、協力や助言等で効率的に運営が出来た。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○			
		(3) 打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。	○			
	年齢別・クラス運営	(1) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	○			年齢別の目標は実態に即し作成できた。また、異年齢児との交流も充実した。ただ、意義や趣旨の理解度に差が見られより深い打ち合わせが必要だ。
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して実態に即して設定しているか。	○			
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	○			
		(4) 同年齢及び異年齢時間の効果的な活動の充実を図っているか。	○			
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。		○		
		(6) 評価、資料(諸記録)を集積しているか。	○			
	保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス運営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	○			全てにおいて年間計画にそって実施し、啓発、連携を計ることが出来た。今年度はインフルエンザが広がった。出席可能日についての保護者の理解が様々だったので、文書や張り紙、個別の説明を丁寧にした。
		(2) 避難訓練・交通安全を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○			
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○			
		(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等との連携を図っているか。	○			
研修	所内研修	(1) 所内研修は、保育目標の具現化につながるものであるか。	○			所内研修は主に漢字保育を相互に参観し、その後検討会をした。気づきや改善点等を話すことで、全体のレベルアップにつなげたかったが、技量の個人差もあり、困難な面があった。
		(2) 所内研修の計画は・運営は適切か。	○			
		(3) 研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。	○			
		(4) 研修の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。		○		
	所外研修	(1) 各種研修会、講習会への参加体制の充実を図っているか。	○			職員の希望等を参考にし、外部研修を受けた。終了後は園内での報告を行った。
		(2) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	○			

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
情報について	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適切に取り合っているか。		○			規定にそって個人情報の管理を行った。 必要に応じて公文書は適切に扱った。
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。		○			
	(3) 各諸表簿は適切な時間・方法で作成・処理しているか。		○			
施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○			安全面に関しては年間計画に沿って点検、確認、訓練訓練を行った。 掲示に加え、HP を利用し効果的な情報の発信を行った。
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。		○			
	(3) 不審者等に対する周到な配慮を行っているか。		○			
	(4) 掲示板、掲示場所等を適正かつ効果的に活用しているか。		○			
出納経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか		○			処理できている。
開かれた保育所づくり 施設間交流・連携 家庭・地域社会との連携	(1) 他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。			○		他園や小学生との交流は行ったが、短時間で年に数回の実施であった。園児が充実感を味わうには定期的に複数回実施が必要と思われるので、担当者同士の打ち合わせを密にしていきたい。 小学校との交流は以前と変わりなし。
	(2) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で(乳)幼児が楽しく過ごし充実感が味わうことができるような配慮や・支援を行っているか。			○		
	(3) 指導者同士が、打ち合わせや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対しての理解を深め、援助についての共通理解を図っているか			○		
	(4) 参観や保育・授業等に参加するなどして幼稚園、小学校の教育を理解しているか。			○		
	(5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。			○		
	(1) 参観時間を制限せず、参観日等を設定しているか。	○				希望日に9:00~16:00の保育参観を実施。その中で懇談をしたり、アンケートを取ったりしている。 R8.3月の引っ越しには十数名の手伝いがあった。 地域の行事には積極的に参加し、交流が見られている。
	(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。	○				
	(3) (乳)幼児の興味や関心に基づいて地域会その他の施設と交流しているか。	○				
	(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	○				

項目		内 容	評 価				意見・改善策
			A	B	C	D	
開 か れ た 保 育 所 づ く り 評 価	子 育 て 支 援 の 推 進	(1) 地域に住む子ども同士、あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行って			○		地域の親子交流はなし。 保護者に対しての子育て相談は機会毎、個別に行っている。 必要な園児、保護者に対しては、専門機関につなげたり、来園して頂いたりした。
		(2) 職員による育児にかかる「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(3) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を取り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
	情 報 の 発 信	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。		○			お便り、ホームページ等での発信に努めた。
	外 部 評 価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。		○			保育参観のアンケートや連絡帳、口頭での会話などを参考にし、園児にとっての利益となるように反映している。
		(2) 保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○			